

全くわからない。渦の向きがそろっていることは、渦の発生海域に大きな水平シア（渦度）の流れが存在することを示唆する。順圧不安定が原因かも知れない。海水中に形成される前線付近に下降流が生じて、渦度が増加した現象かも知れない。水面が冷却されて、下降流が生じたのかも知れない。

送られてきた気象関係の写真で、特に、目新しいものはなかった。ここでは、温帯低気圧とハリケーンの中心部の雲の写真を写真3、4に紹介する。写真3は、1984年10月13日1619Z にアリューシャン列島の近く（56.9°N, 136.3°W）で撮影された雲で、閉塞した温帯低気圧

の中心部ではないかと思われる。気象衛星の写真に見る中心部には、寒気の侵入によって雲のない部分が存在するが、この写真の中心部は、一面厚い雲におおわれているように見える。

写真4は、ニューヨーク市の近くまで北上したハリケーン・ジョセフィンの中心部である（10月13日 1631Z）。眼と、それを取り巻くカリフラワー状の積乱雲、その上をおおうベールのようなアンビルが識別できる。

謝辞：スペースシャトルのカatalogを貸していただいた J.C. Scott 氏、写真の焼付けをしていただいた東大海洋研究所・三沢信彦氏に感謝します。

NEWS

世界の異常天候とその影響評価 (28)

(Climate Impact Assessment, June, 1986, NOAA/NESDIS)

1. 合衆国・中南部一大雨・洪水

大雨のため特にテキサス州で洪水が発生した。サンアントニオでは、6月になってからの降水量が6月19日までにすでに300mm（12インチ）に達した。風速37.5m/秒（135km/時）の強風を伴ったハリケーン Bonnie がポートアーサー付近のテキサス州東部海岸地域を襲い、この地域に150~300mm（6~12インチ）の降雨をもたらし、3人が死亡した。

2. 合衆国・東南部一干ばつ

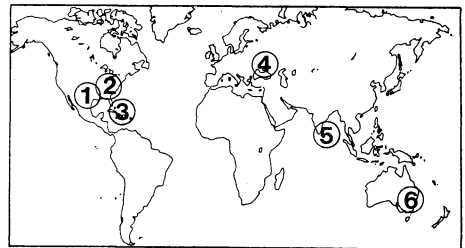
メリーランド・バージニア・ノースカロライナ、サウスカロライナ各州の農作物と牧草に厳しい干ばつによる影響が続いている。6月末2日間の雷雨により干ばつの影響がいく分軽減されたが、ノースカロライナ、サウスカロライナ両州の一部では今年に入ってからからの降水量が平年の1/3しかないところもある。

3. 大アンチル諸島一大雨・洪水

熱帯性擾乱による大雨のため、6月1日~3日にキューバ、ハイチ、ジャマイカ、ドミニカ共和国に洪水被害があった。洪水により少なくとも59人が死亡した。

4. ソ連一乾燥

5月末~6月半ばの暑く乾燥した天候により、ソ連西部の冬穀物と春穀物に影響があった。しかし、6月末には涼しく湿った天候になり、ほとんどの地域でこの影響は軽減された。



5. スリランカ一乾燥

乾燥した天候がヤラ期*の稲作に影響を及ぼしており、影響を受けた大部分のところでは灌漑が行われていない。

6. オーストラリア一乾燥

5月~6月の降水量が平年の50%以下であったため、ニューサウスウェールズ州北部とクィーンズランド州南東部の主要小麦地帯では小麦の植付けの完了が遅れた。また、長期間にわたる乾燥した天候は早い時期に植付けられた小麦の苗立ちにとっても不都合であった。

注：上記各項目の番号は図中の番号に対応している。
(気候変動対策室 中川慎治)

* スリランカでは、4月~9月までの南西モンスーン期間を「ヤラ」と呼んでいる。これに対し、10月~3月までの北東モンスーン期間を「マハ」と呼んでいる。